

# 選手注意事項

## 1 競技について

- (1) 本競技会は、2025 年度日本陸上競技連盟規則および本大会申し合わせ事項により運営する。
- (2) 招集場所は現地とする。トラック種目はスタート付近にて競技開始 20 分前に 1 組から順行。フィールド種目は 30 分前とする。係員により点呼があるので、競技者本人がアスリートビブスの確認を受けること。他の種目に出場している場合は代理人でもよい。
- (3) 申し込み後の変更は、理由の如何を問わず認めない。
- (4) アスリートビブスはそのままの形でユニフォームの胸部と背部につけること。ただし、跳躍種目に出場する競技者は、胸部または背部のいずれか一方でもよい。トラック競技に出場する選手は、各校で準備した腰ナンバー標識を右腰後方に付けること。
- (5) スパイクシューズのピンの長さは全天候装につき 9mm 以下とする。ただし、走高跳・やり投は 12mm 以下とする。ピンの数は 11 本以内とする。
- (6) 走幅跳、三段跳、投てきの競技者においては参加すべての選手に 3 回の試技が与えられる。
- (7) 跳躍競技のバーの上げ方については下記の通りとする。(ただし、状況により変更することがある)

走高跳	男子	練習 1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m83	以後 3cm 刻み
	女子	練習 1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m48	以後 3cm 刻み	
棒高跳	男子 女子	練習 1m90 他	2m00	2m10	2m20	2m30	2m40	2m50	以後 10cm 刻み	

※棒高跳の練習はゴムバーを使用

※三段跳の踏切板は、砂場まで男子 11m、女子 9m とする

- (8) フィールド競技は、主催者が用意したマーカーを置くことができる。跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側（走高跳では助走路内）に 2 カ所置くことができる。サークルから行う投てき競技はマーカーを 1 つだけ置くことができる。そのマーカーはサークルの直後あるいはサークルに接して置く。マーカーは、現地で審判員が渡す。そのマーカー以外は使用してはならない。
- (9) 競技用具については棒高跳用ポールを除き、競技場備付のものを使用する。
- (10) 助力について・・・スタンドからの助言は、競技運営並びに他の競技者の妨げにならない範囲で認めるものとする。ビデオ等による助言は認めるが、その際、競技者が視職の為に勝手に当該競技エリアから離脱することや文章連絡は認められない。また、ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を、競技区域内で所持または使用することはできない。

## 2 その他

- (1) 参加校は定められた人数の補助員を出すこと。また、1 名以上の顧問を役員として協力すること。
- (2) 参加校は当日の準備・片付けに協力すること。ゴミは各校で持ち帰ること。
- (3) 大会中のけがについては各自で対処すること。
- (4) 各校補助員は、9:00 に集合場所（本部前グラウンド）に集まり、補助員係の指示を受けること。
- (5) 人の呼び出しや各校の個別の用件のための「放送施設」の使用は行わない。ただし、重要かつ緊急を要することについてはこの限りではない。
- (6) 写真・ビデオなどの撮影については指定された場所のみ許可する。
- (7) 競技に支障のあるような応援はしないこと。特にフィールド競技試技中の集団応援は、サイド、バックスタンドの 2 階席スタンドで行うこと。メインスタンドでの集団応援、およびメインスタンド最前列に立っての応援は禁止する。